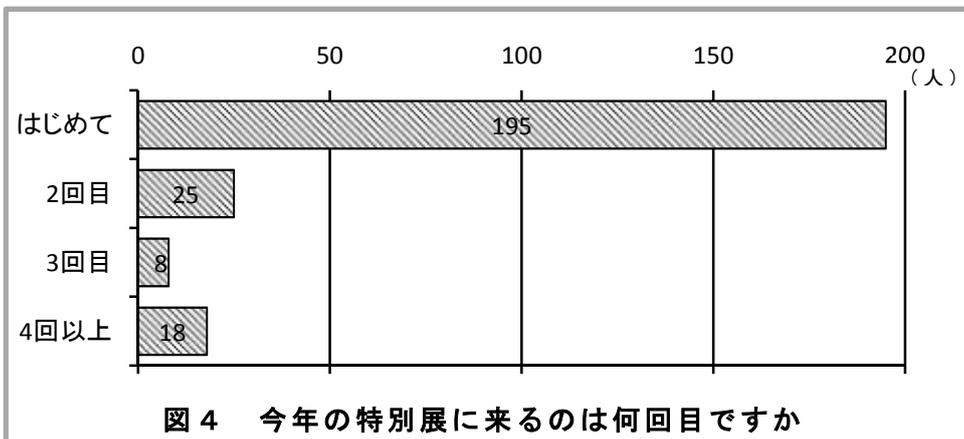
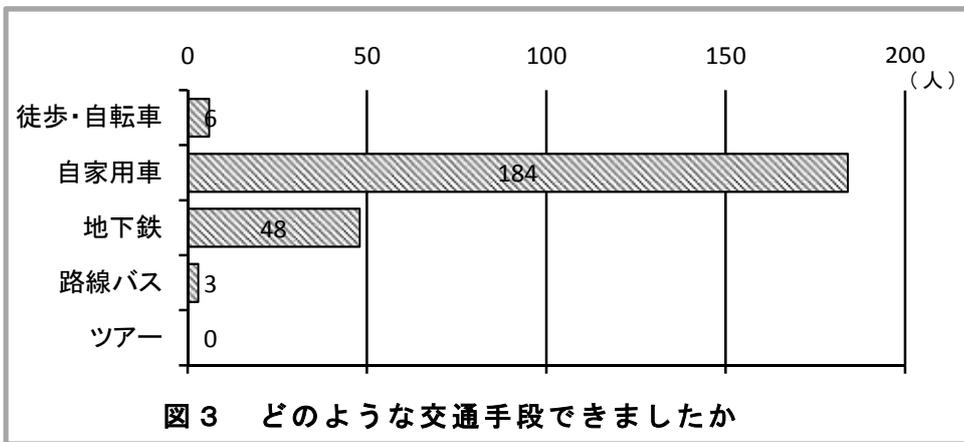
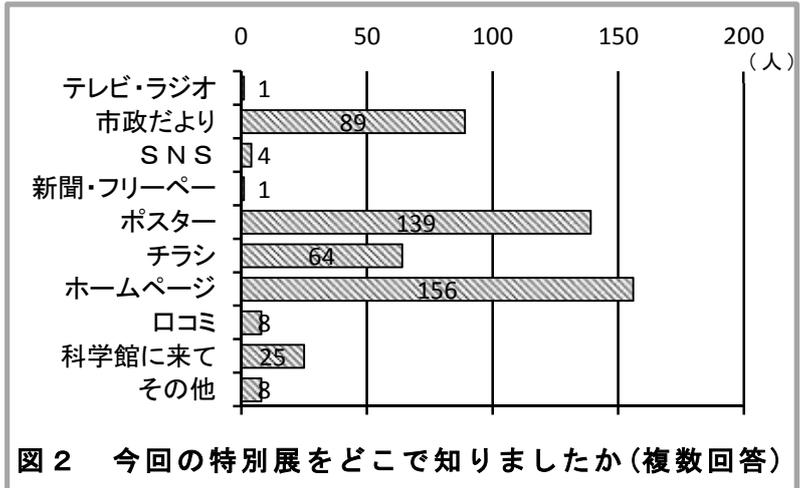
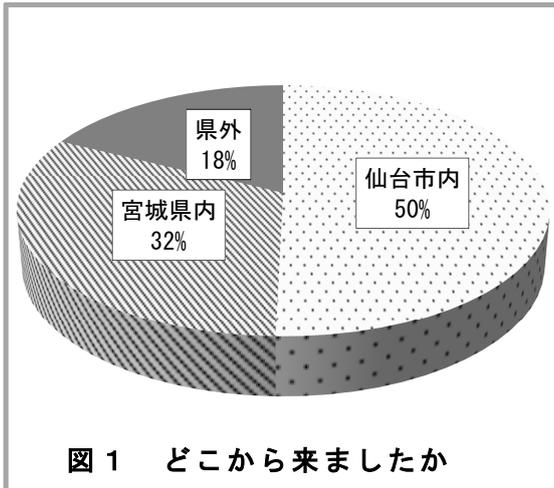


平成28年度特別展アンケート結果の概要

資料 1 - 2

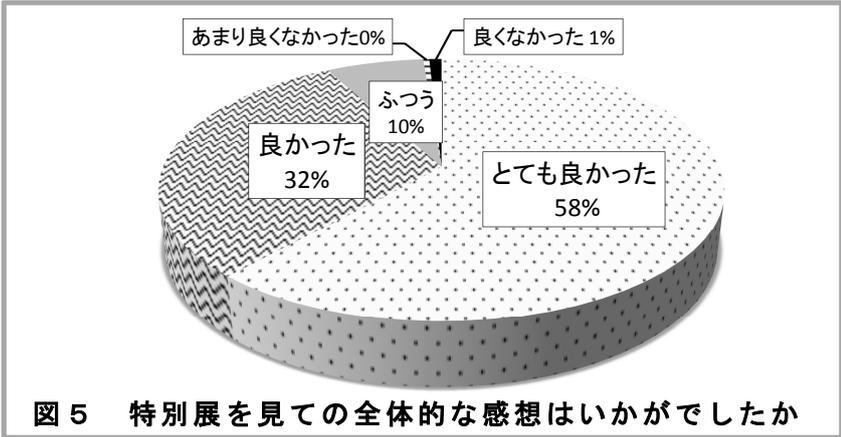
アンケート調査実施日 平成 28 年 8 月 7 日(日), 14 日(日), 15(月), 16 日(火), 19 日(金)
 アンケート調査方法 用紙による記入
 アンケート回答者 小学生以上の来場者 255 人
 (内訳) 小学生 191 人 (回答者の 75%)
 中学生 11 人 (回答者の 4%)
 高校生 3 人 (回答者の 1%)
 大学生・一般 50 人 (回答者の 20%)

(1) 来館者の傾向

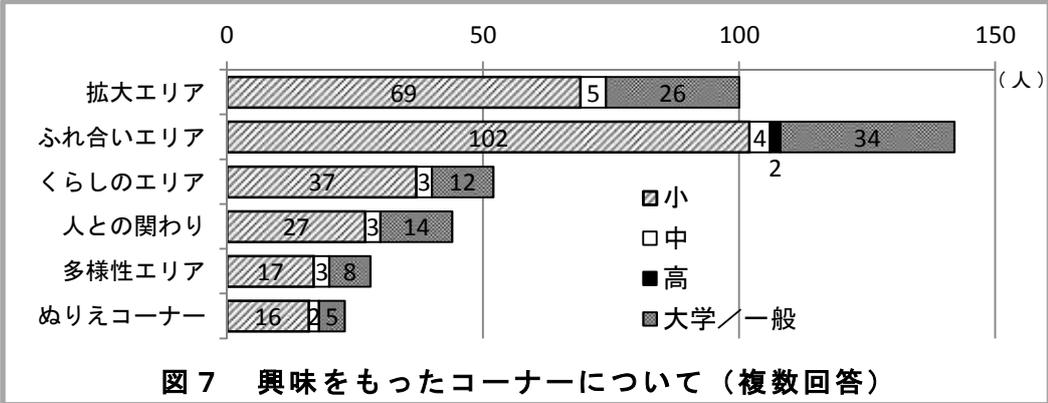
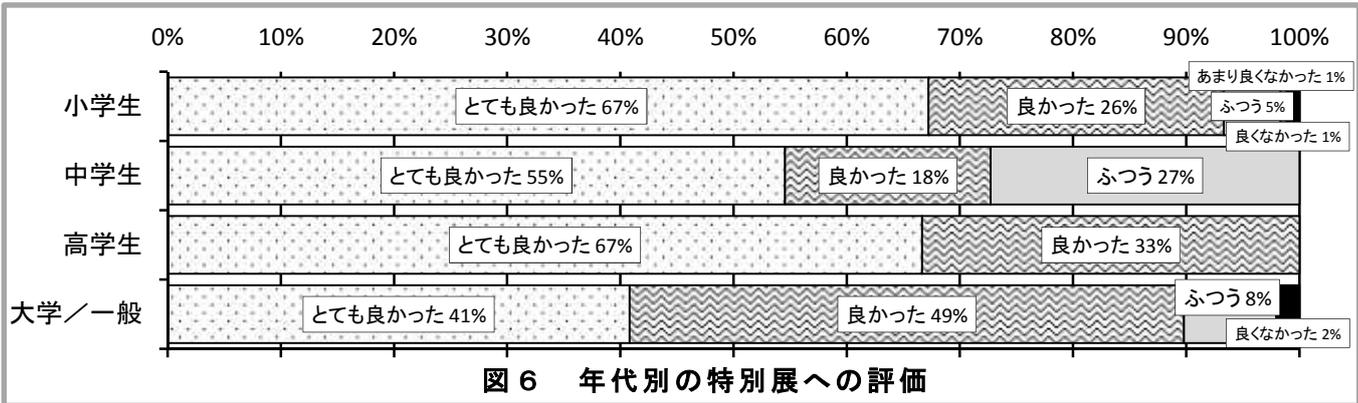


県外からの来館者は昨年と同じ割合となったが、県内の来館者の割合は7ポイント増加している。(図1)
 特別展開催について、昨年は「チラシ」と「科学館に来て」が群を抜いていたが、今年はポスター、ホームページ、市政だよりが多かった。一昨年からホームページの広報効果が急上昇している。(図2)
 地下鉄利用の来館者は6ポイント増加した。また、5人に1人はリピーターであるが、ほとんどが車を利用することから、親の興味も高いようだ。(図3, 4)

(2) 特別展の評価

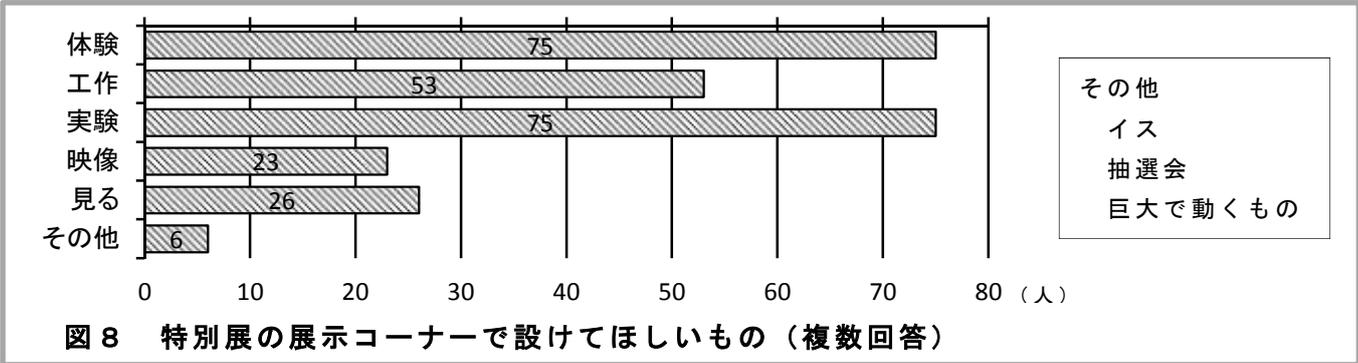


全体的な感想が「とても良かった」「良かった」を併せて9割となった。(図5) 解説員の説明が分かりやすかったとのコメントも多かった。来館者の満足度は高く、昆虫は年代を超えて親しみやすい内容であったと思われる。特に児童・生徒の「とても良かった」割合が高かった。(図6)



生き虫を多く展示し、触ることもできるふれ合いエリアは人気があった。(図7) ふれ合い虫かごは待ち時間も多かったため、部屋を拡張して対応した。

(3) 次年度以降の要望



取り上げてほしいテーマ：ロケット、宇宙、工作、テクノロジー、エコロジー、医学、恐竜、鉱物、天気、菓子、動物、海の動物、植物、ハチ